

### ご挨拶

当法人は平成十年十月、国立あおやぎ苑の開設以来、健診センターの事業継承含め主に介護関連施設の拡充を図って参りました。

そしてこの度、法人にとって待望の有床診療所が今秋開院の運びとなりました。

地域医療を確保する上で、果たす役割は非常に大きいと思われまます。

諸般の事情で開院が当初の予定から大幅に遅れましたが、開院に至ったのも土地を譲渡していただいた「箱守製作所」はじめ周辺住民の方々や関係各位のご理解、ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

有床診療所は、昭和五十年代、医療費抑制が続く中、病院との診療報酬の格差が開き始め「有床診療所の果たした歴史的役割は終わった」とまで言われ、無床化が進み、施設数も二十年前に比べ半減しているのが現状です。

しかし超高齢化社会における医療・介護を考えたとき、地域密着の地域に根差した包括的マネジメント・ケアを担える有床診療所の役割がより重要であり、今年度の診療報酬改定においてもその評価がなされているところであります。

それ故、有床診療所の機能は多岐に亘っており、入院においては病院や在宅からの一時的短期なものから、長期を含めた長期の入院療養など小規模ながら多機能の役割が求められます。

当法人は近隣に三つの老健(計417床)を擁し、後方病床としての役割が大きいと思われまますが、当クリニックが地域の小規模多機能施設として、また外来機能と入院機能を兼ね備えた「かかりつけ医」として地域の皆様に社会的、家族的、個人的背景の下、医療・保健・介護の包括的ケアシステムの中心的役割を果たし、「地域に無くてはならないクリニック」となるよう、職員一丸となって努力して参りますので、ご支援、ご指導賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

クリニック 国立あおやぎ苑

院長 平沼 俊

## 特集 『ロボットスーツHAL®』

HAL®とは？

### ①HAL®が動く仕組み

人が動こうとすると、その意思は微弱な電気信号となり体内の神経を通じて、脳から筋肉へ伝達されます。



### ②意思をHAL®に伝達



その微弱な信号を皮膚表面に取りつけたセンサーにより感知し、その信号をコンピュータが解析し、ロボットに伝えます。

※試験的に運用を開始しておりますが、現在使用条件として170cm以上体重80kg未満の方が対象となります。その他詳しくはリハビリ課職員までお問い合わせ下さい。

### ③自分で動かしている感覚

コンピュータが信号を受け取るとモーターが駆動し、本人の意思そのままの自然なアシストが実現されます。



### ④脳による動作の学習促進



歩けた！という感覚のフィードバックが脳へ送られます。これにより脳は歩くために必要な信号の出し方を少しずつ学習することができると考えられています。



# チーム紹介④

## 縄文棟 2F



左上から：Ns加畑 保坂 大村  
左下から：立川 滝澤 中澤



左上から：Ns山田 佐々木 福田 中島  
左下から：丸山 東城 Ns長埜 古山



左上から：大島 Ns長嶋 窪田 川内  
左下から：Ns福原 樋口 相沢

こんにちは、縄文棟2Fです。  
(^o^)

2F職員は、お互い声を掛け相談、確認し合い業務に取り組んでいます。

利用者の方々には、楽しく、笑顔で生活していただけるようにスタッフ一同心掛けています。

至らないこともありますが、よろしくお願ひします。

### あおやぎ徒然草3

TMさんのエッセーを紹介するこのコーナーも今号で3回目となりました。夏の疲れをとるには、あまーいお菓子が魅力的ですね。

#### 祝い菓子

昔、菓子といえば、水菓子を指した。今でも果物を水菓子と呼ぶお年寄りがいる。明治の文明開化でケーキが登場した。そこで、昔からの菓子を洋菓子に対して和菓子と呼ぶようになった。和菓子のルーツは素材の面からいえば団子や餅にある。「洋菓子」という言葉が国語辞典にのったのは昭和になってからであるが、文明開化以前にも洋風な菓子はあった。いわゆる南蛮菓子である。

種子島への鉄砲の伝来とともに、南蛮貿易が始まった。カステラや金平糖などが長崎経由で入ってきた。砂糖や卵などを使い、従来にない製法で作られた。したがって、洋菓子の最初の始まりはその頃だったといえるのではないだろうか。

元禄時代には、食文化の象徴である豪華な菓子が作られ、グレードの高い菓子は将軍家や大名家に献上されるようになった。

あおやぎ苑の新館、縄文棟がオープンしてから早いもので半年が過ぎた。あおやぎ苑の事業の今後のますますの発展を祈念して祝い菓子の歌を詠んでみた。

松みどり 花のお江戸の 能舞台 壽ほく扇  
富士の高嶺に。

### クリニック紹介

近日、クリニック国立あおやぎ苑が開設予定となります。縄文棟より徒歩3分、みのわ通り沿いの三階建、内科診療が主の療養型（ベット数17床）施設で、医師2名・看護師7名・またリハビリ職員（理学療法士）1名配置となります。

診療時間は午前9時から午後5時までです。国立あおやぎ会待望の医療機関です。



### バーベキュー

平成26年5月28日に第一回縄文棟バーベキューを行いました。お肉や魚介類、野菜など沢山の食材の中でも最も人気があった食材は何とブリブリの殻つきエビでした。

利用者様からの反応も良く、たくさんの笑顔を見ることができ素晴らしいバーベキューになったと思います。次回は

秋を予定していますのでよろしくお願ひします。



リハビリ課 有島洋平

### 新入職員紹介

#### 河原 千明（言語聴覚士）

こんにちは。回復期病院での勤務を経て、6月にこちらに入職しました。まだまだわからないことだらけですが、よろしくお願ひ致します。



### 私のふるさと自慢

今回は私の育った立川市をご紹介したいと思います。ご存知の方も多いと思いますが、立川市は東京のほぼ中央、あおやぎ苑のある国立市の隣に位置しています。

ここ数年、駅前の再開発が進んでおり、近代的な街へと変わりつつありますが、私の住んでいる北部はまだまだ畑も多く、緑が多い市でもあると思います

特に近くを流れる玉川上水は流れに沿って緑道が整備されており、気軽に四季の変化を感じる事の出来るお勤めの場所です。

玉川上水は、江戸幕府が江戸の人口が増えて井戸や小川だけでは飲料水を賄えなくなったため、多摩川の水を江戸に引くことを計画し、承応2年（1653年）に玉川庄右衛門、清右衛門の二人の兄弟が完成させたといわれています。水の清浄と美観を保つため両岸には木々が植えられ、初夏の新緑、秋の紅葉、そして冬木立と四季を通して自然の美しさを楽しむことができる場所です。

お近くに来た際には是非足を運んでみてはいかがでしょうか。 理学療法士 未廣 敦

